

【NEWS RELEASE】

2021年2月26日

各位

株式会社三井住友銀行

アチハ株式会社に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、アチハ株式会社（代表取締役：阿知波 孝明）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、アチハ株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 風力発電事業による国内の再生可能エネルギーの普及促進、風力発電設備の輸送・据付における環境への配慮

目標7 エネルギーを みんなに そしてクリーンに	7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
目標15 陸の豊かさを 守ろう	15.1 2020年までに、国際協定の下での義務に則って、森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。

- ② 鉄道車両運搬事業・リース事業を通じた、車両のリユースの促進および環境意識の啓発

目標12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
	12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。
目標8 働きがいも 経済成長も	8.9 2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



風車部材を建設予定地へ輸送するために、森林伐採等による輸送路の開発（道路の新設若しくは既設道路の拡幅等）を伴うケースがあります。その開発を最小限に抑え森林を保護するため、風車の羽（ブレード）を持ち上げて輸送する特殊機材（傾斜装置）を採用しております。それにより、地球環境保護と、従前であれば輸送困難とされてきた案件の成就による再生可能エネルギーの普及促進に貢献しております。



風車の建設にはクレーン等の重機の作業スペースを確保するため、森林伐採等の開発を伴うケースがあります。

その開発を最小限に抑え森林を保護するため、国内メーカーと共同開発した、日本初の風車専用タワークレーンを採用しております。それにより、地球環境保護と、風車案件の大型化に対応することによる再生可能エネルギーの普及促進に貢献しております。



かつて国内で活躍した蒸気機関車をリユースし、使用済食用油を精製したバイオ燃料でエアコンプレッサーを駆動させ、その圧力で走行する圧縮空気方式の蒸気機関車を開発しました。

2019年には和歌山県有田川町と共同で「エコフェスタ」を開催し「SDGs号」を運行しました。

現在は、全国各地への鉄道車両運搬事業・リース事業を通じ、環境啓発や地域振興に貢献しております。

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。